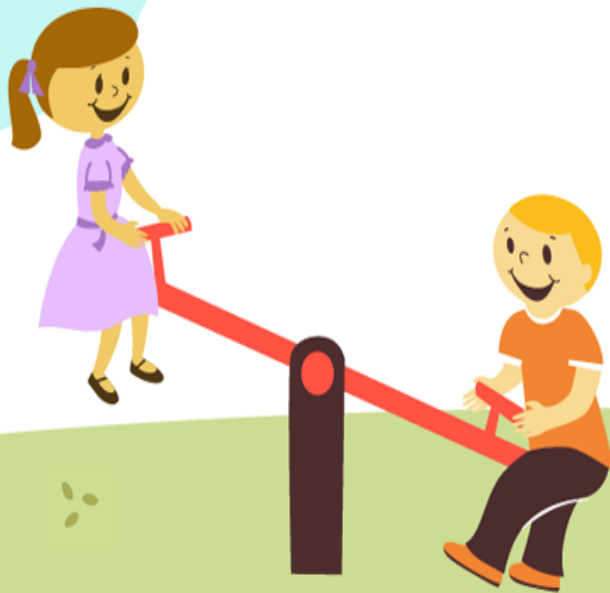


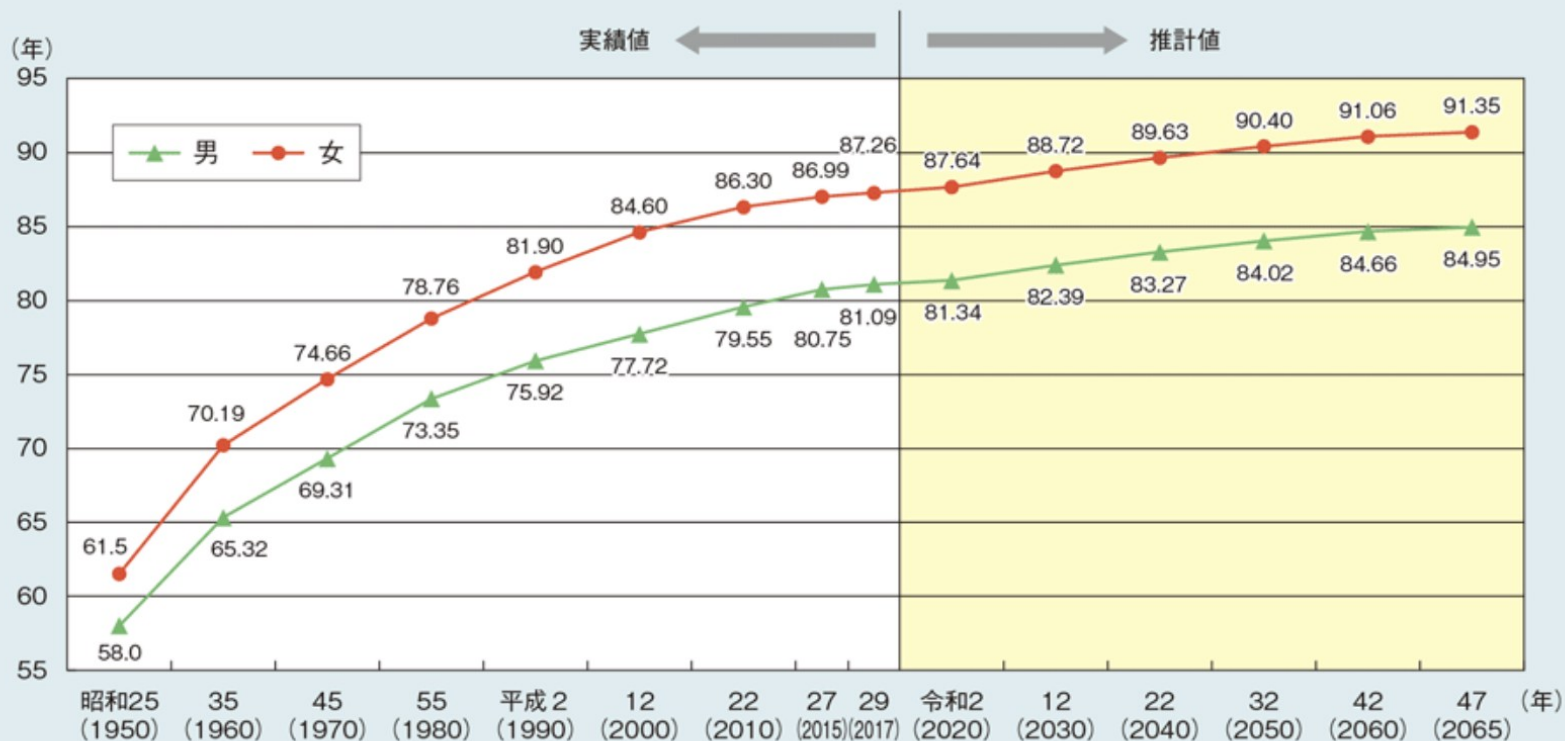
# 動物の寿命延伸と一人暮らし高齢者 ～孤立させないために～

人間と動物の医療福祉を豊かにするための研修事業



# 日本人の平均寿命は伸びています

## 平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2017年は厚生労働省「簡易生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

# 犬の寿命・猫の寿命も伸びています

	犬の寿命	猫の寿命
1990年台	8~9歳	5~6歳
2000年台	10~11歳	10歳
2010年台	13.5歳	14.0歳
2023年	14.6歳	15.9歳

ペットを家族と考える  
価値観の浸透

城戸佐登子:犬と猫における長寿に関わる要因の疫学的解析.獣医疫学雑誌 2001:2:77-87  
アニコム 家庭動物白書 2024

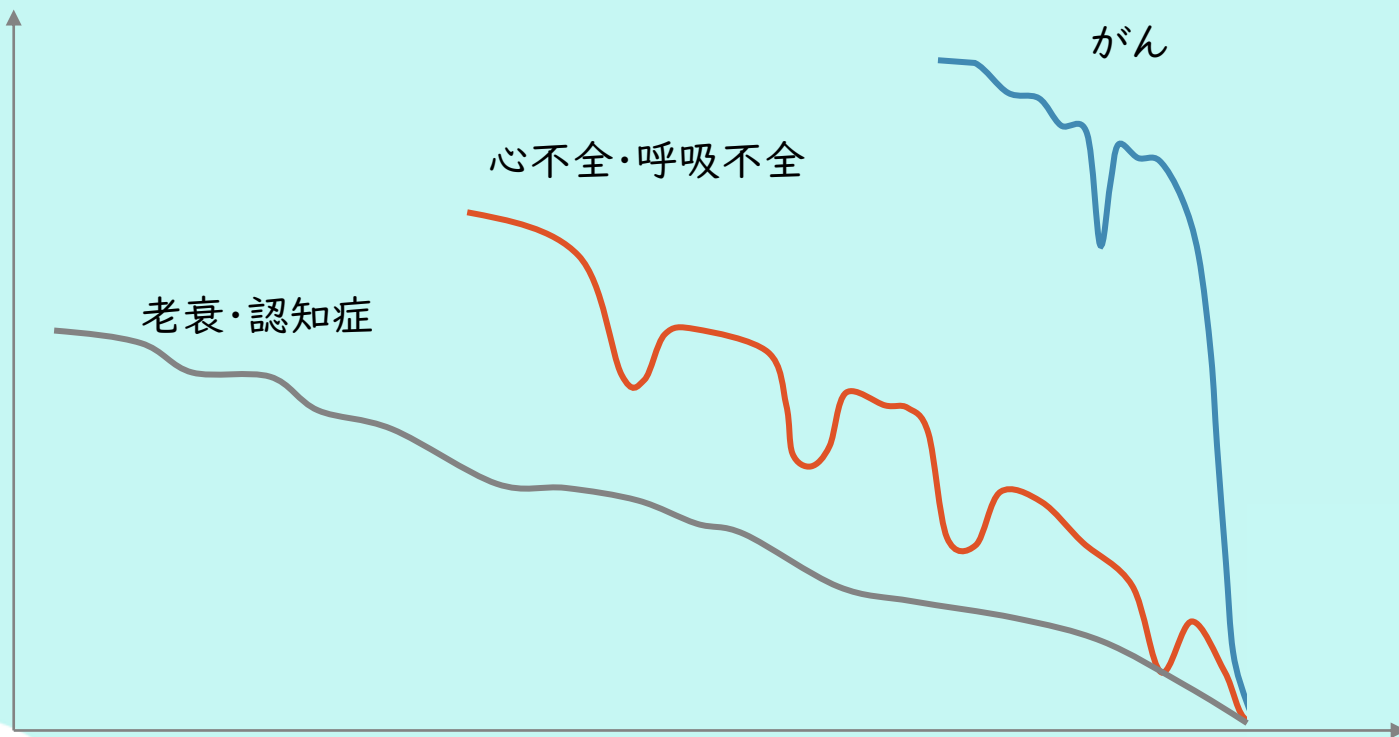
長寿化が進む中で

ペットと10年以上の時間を共にすることが当たり前になりました

飼い主自身の加齢に伴う変化を見据え

将来の備えを早めに検討することが求められます

# 加齢に伴う疾患の生活能力低下（概念図）



# たとえば急にがんと診断され

急な入院時のお世話

突然のできごとへの備えは？  
(一時預かり先はある?)

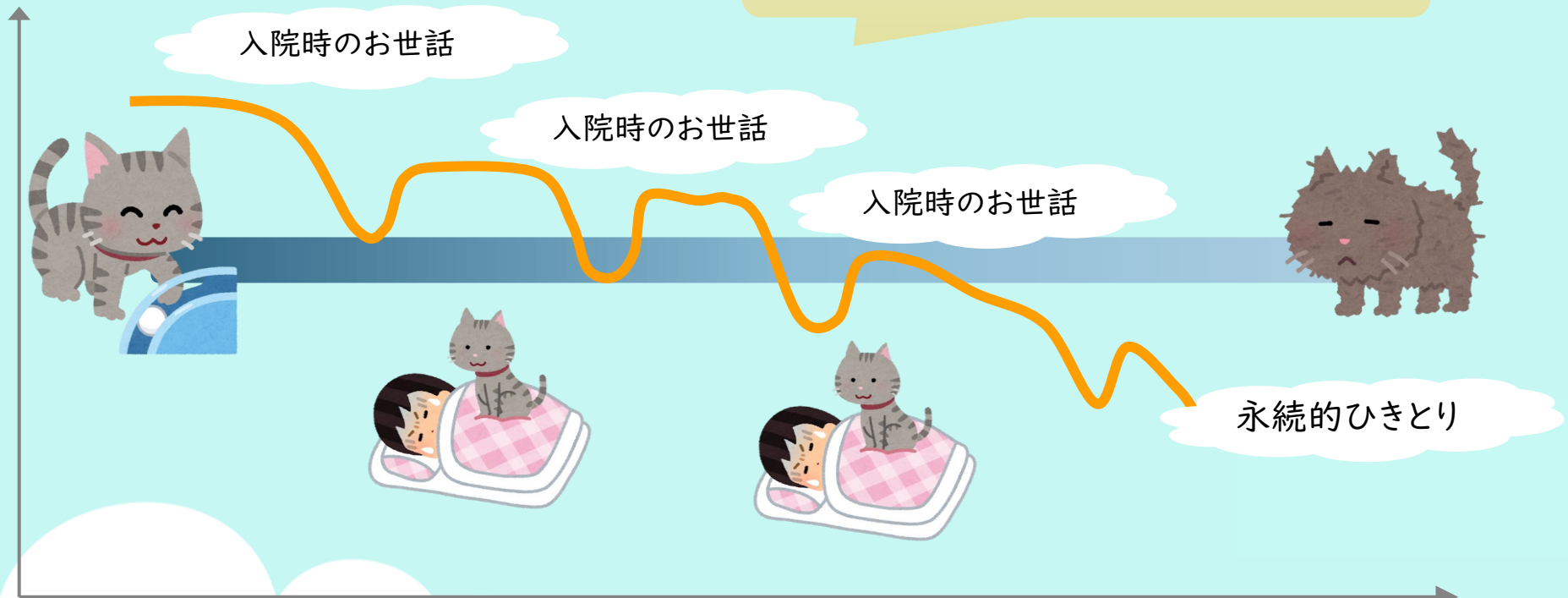


急な別れ



# 慢性心不全で入退院を繰り返すようになって

ペットを預ける準備は？  
(本人の心構え、ペットを預ける練習など)



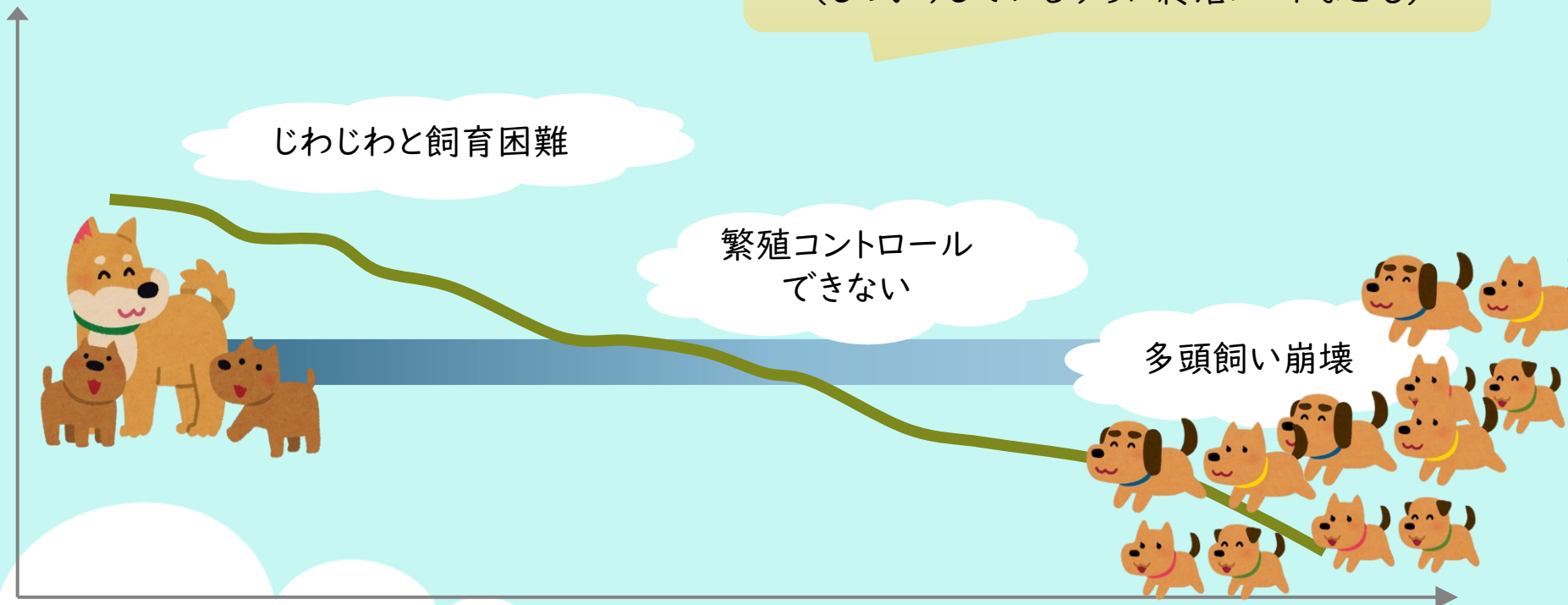
# 大病はしなかったけど徐々に認知症が表面化

自分で判断することが難しくなったら？  
(しっかりしているうちに終活ノートなども)

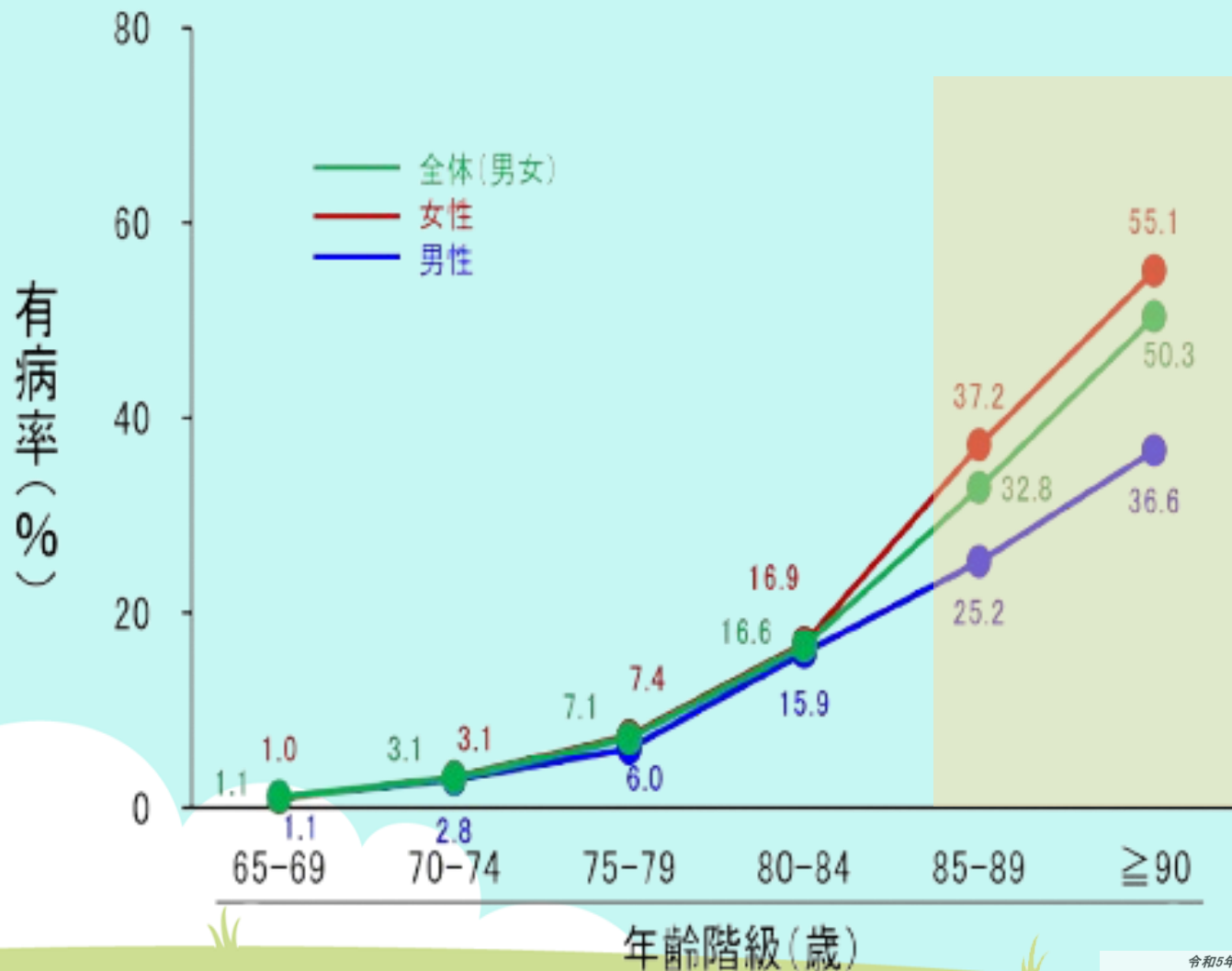
じわじわと飼育困難

繁殖コントロール  
できない

多頭飼い崩壊



# 高齢化と認知症の有病率



2022-2023年調査における認知症の年齢階級別有病率  
(調査地域: 久山町、中島町、中山町、海士町)

令和5年度老人保健事業推進費等補助金  
(老人保健健康増進等事業分)

「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並び  
に将来推計に関する研究」

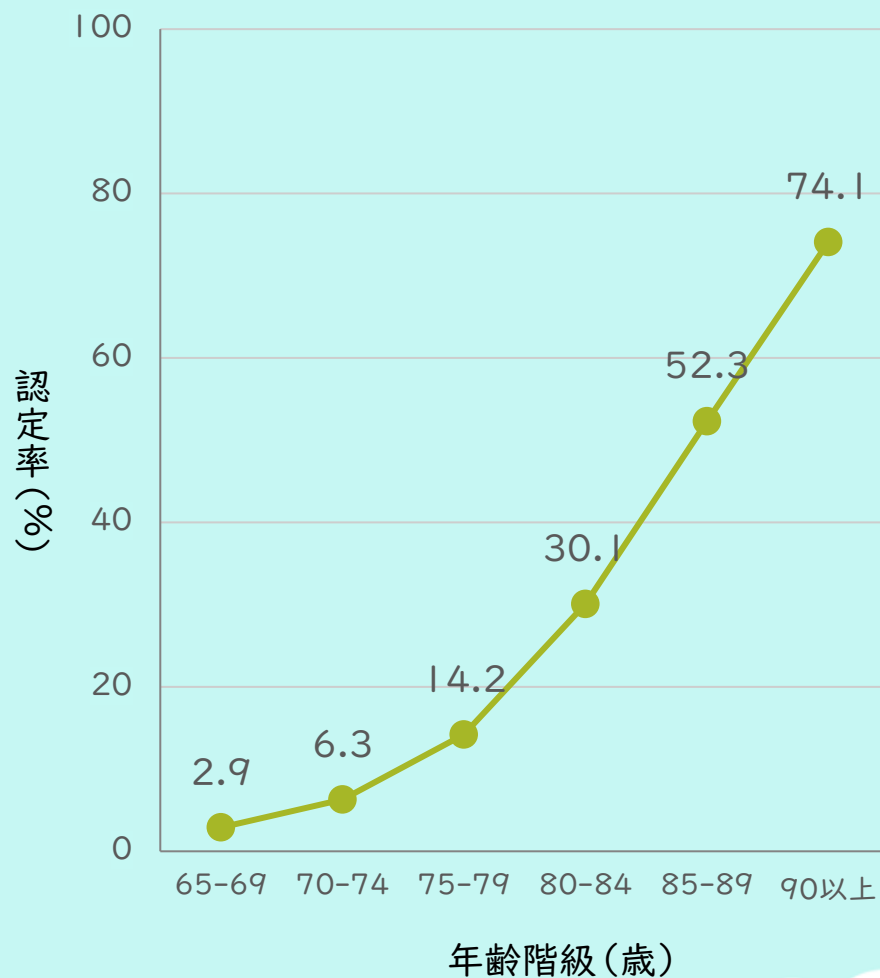
# 介護保険の現状

高齢者の生活を支える介護保険サービスは重要であり多くの方が利用しています

ただし

原則として「要介護・要支援の本人に対しての自立支援・生活援助」が利用対象であり


ペットの散歩・餌やり・トイレの清掃などは介護保険の適用外です



# 在宅で利用できる介護保険サービス

訪問系	訪問介護（ホームヘルプ）	ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護（入浴、排泄、食事）や生活援助（掃除、買い物など）を行う
	訪問看護	看護師等が訪問し、病状観察、医療的ケア、療養上の相談支援を提供
	訪問入浴介護	専用浴槽を持ち込み、自宅で入浴介助を行う
	訪問リハビリテーション	理学療法士・作業療法士などが自宅でリハビリを実施
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	24時間対応可能な訪問介護・看護を組み合わせたサービス
通所系	通所介護（デイサービス）	日帰りで食事、入浴、レクリエーション、機能訓練などを提供
	通所リハビリテーション（デイケア）	医療機関や老健などで専門的なリハビリを日帰りで受ける
	認知症対応型通所介護	認知症の人を対象にした専門的なデイサービス
短期入所系	短期入所生活介護（ショートステイ）	介護施設に短期間入所して生活介護を受ける
	短期入所療養介護	医療的管理の下での短期入所
その他	小規模多機能型居宅介護	訪問、通所、宿泊を組み合わせ提供
	看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	小規模多機能に訪問看護を組み合わせたサービス
	福祉用具貸与・販売	介護ベッド、車いす、手すりなどのレンタルや購入助成
	住宅改修	手すり設置、段差解消、トイレ改修などの費用補助（上限20万円まで）
	居宅介護支援（ケアマネジメント）	ケアマネジャーがケアプランを作成し、サービス調整を行う

# ペットがいることでサービスを利用しにくいことも

訪問系	訪問介護(ホームヘルプ)	<p>極端な多頭飼育、攻撃的なペット、不衛生な住宅にはサービスが入りづらい</p> <p>サービス利用者の生活支援が目的であるため同居者やペットのお世話は対象にならない</p>
	訪問看護	
	訪問入浴介護	
	訪問リハビリテーション	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
通所系	通所介護(デイサービス)	
	通所リハビリテーション(デイケア)	
	認知症対応型通所介護	
短期入所系	短期入所生活介護(ショートステイ)	<p>ペット同伴で入所することはできない</p> <p>短期入所中のペットの世話が問題となる</p>
	短期入所療養介護	
その他	小規模多機能型居宅介護	<p>ペット同伴で入所することはできない</p> <p>ペットの永続的な引き取り手を探す必要がある</p>
	看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	
	福祉用具貸与・販売	ペットによる貸与物の破損の可能性がある
	住宅改修	
	居宅介護支援(ケアマネジメント)	



# 多面的な支え

		強み	弱み
自助	自分の力で解決	自己決定を尊重できる 迅速に対応 多様なニーズに対応	高齢者では自活力低下 生活格差を反映しやすい 孤立を招く恐れ
公助	国や自治体など 公的機関が支援	最低限度の生活は保障 公平・中立 持続性がある	画一的な対応 財源の制約 対応が遅くなりがち
共助	地域や団体など 組織的な相互扶助	地域に根ざしたきめ細かい対応 連帯感を醸成 公助を補完	地域間格差 人間関係の負担 少子高齢化で担い手不足
互助	個人間・友人・近所 家族などの非公式支援 ボランティア・NPO	信頼感に基づき柔軟 迅速で臨機応変 コミュニティの形成促進	依存や負担の偏りによる疲労 近所・家族関係が希薄化しつつある プライバシー問題

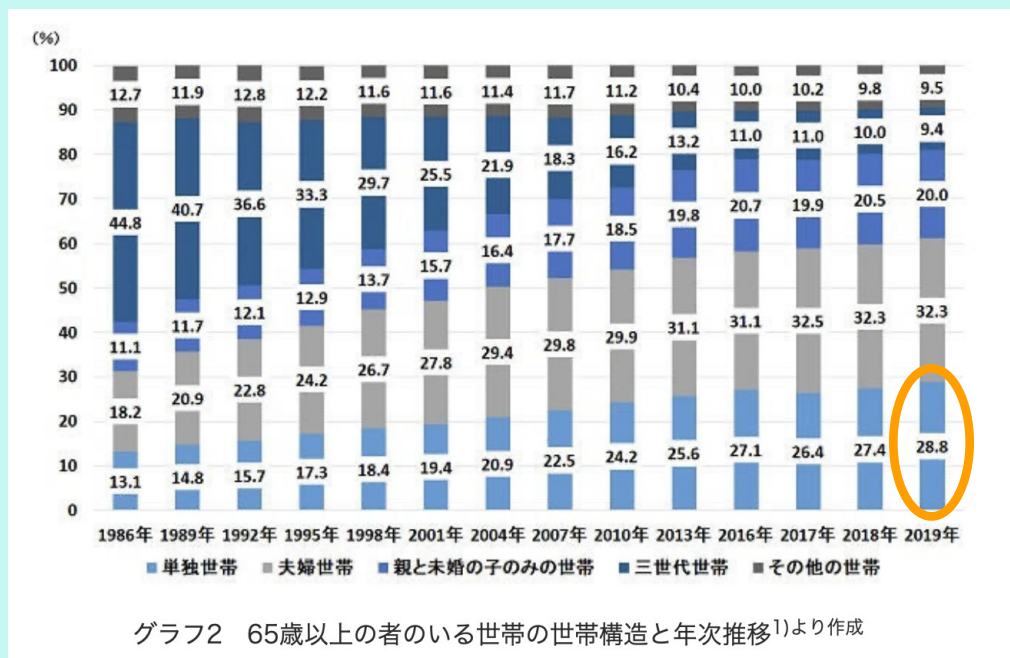
# 孤立の問題

様々な孤立がペット飼育の問題を深めています

独居高齢者の増加もそうですし

精神障がいも孤立につながります

# 65歳以上世帯の約3割が独居



共に暮らすパートナー  
 がない高齢者は  
 孤立しやすい

近所の人との付き合いや社会活動の少ない高齢者は地域とのつながりが持てず  
 頼れる家族・親族が近くに居なくなった場合に孤立しやすい

# 精神障害があると孤立しやすい理由

ストレスに弱く、疲れやすく、対人関係やコミュニケーションが苦手な方が多い

外見からは分かりにくく、障害について理解されずに孤立している方もいる

病気のことを他人に知られたくないと思っている方も多い

周囲の言動を被害的に受け止め、恐怖感を持ってしまう方もいる

学生時代の発病や長期入院のために、社会生活に慣れていない方もいる

気が動転して声の大きさの調整が適切にできない場合もある

障害のために、何度も同じ質問を繰り返したり、つじつまの合わないことを一方的に話す方もいる

# それぞれの地域で

地域により強みや弱みがあるはずで

強みを活かし、弱みは連携などでカバーし

少しずつでも対応力を高めていくことが大切だと考えます

